

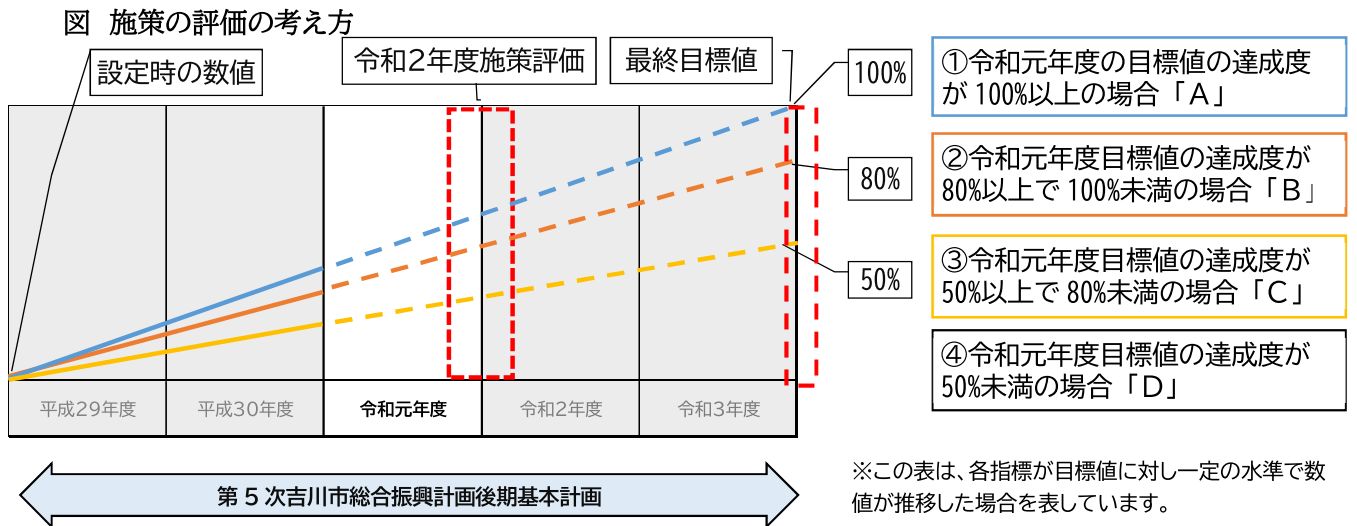
# 令和2年度施策評価結果の概要

第5次吉川市総合振興計画後期基本計画(計画期間:平成29年度から令和3年度)に掲げられている各施策の進捗状況を把握するため、令和2年度に令和元年度の1ヵ年における施策評価を行いました。

## 1 指標の達成状況

### (1) 達成率の考え方

各施策に設定されている指標の実績値の把握を行い、当該年度の達成率を求め、その達成率をもとに4段階の評価を行いました。進捗の評価の考え方については下図のとおり整理しました。



#### ① 令和元年度目標値の達成度が100%以上の指標

令和元年度目標値の達成度が100%以上の場合は「A」と評価しました。全82指標のうちの32指標となり、割合は39.0%となっています。

#### ② 令和元年度目標値の達成度が80%以上で100%未満の指標

令和元年度目標値の達成度が80%以上で100%未満の場合は「B」と評価しました。全82指標のうち10指標となり、割合は12.2%となっています。

#### ③ 令和元年度目標値の達成度が50%以上で80%未満の指標

令和元年度目標値の達成度が50%以上で80%未満の指標は「C」と評価しました。全82指標のうち8指標となり、割合は9.8%となっています。

#### ④ 令和元年度目標値の達成度が50%未満の指標

令和元年度目標値の達成度が50%未満の指標は「D」と評価しました。全82指標のうち31指標となり、割合は37.8%となっています。

## (2) 指標の達成状況のまとめ

各指標が令和3年度の目標値に対し一定の水準で数値が推移すると仮定し、令和元年度の目標値と実績値を比較することで、各指標の1年間の進捗状況を評価しました。各施策の達成度を測る全82指標中「A」は32指標、「B」は10指標、「C」は8指標、「D」は31指標、「-（数値目標ではなく当該年度においては評価できない指標）」が1指標となっています。「A」と「B」を合わせると42指標で51.2%となっており、半分の事業が概ね順調に進んでいるものと考えられます。

また、「C」と「D」を合わせると39指標で47.6%となっており、要因の分析を行い、取り組みの推進を図ります。

| 達成状況 | 達成度               | 指標数 | 割合(指標) |
|------|-------------------|-----|--------|
| A    | 100%以上            | 32  | 39.0%  |
| B    | 80%以上 100%未満      | 10  | 12.2%  |
| C    | 50%以上 80%未満       | 8   | 9.8%   |
| D    | 50%未満             | 31  | 37.8%  |
| -    | 数値評価でなく、当該年度の評価不可 | 1   | 1.2%   |
| 計    |                   | 82  | 100.0% |

## 2 施策の総合評価

### (1) 評価の方法

施策ごとに以下の4つの評価軸を設定して評価を行いました。

| 評価軸         | 各評価点の算出方法   |
|-------------|---|
| ① 指標の達成状況   | 各指標の達成度を A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、平均点を評価点とした。                   |
| ② 施策の進捗状況   | 順調=4点、おおむね順調=3点、やや順調でない=2点、順調でない=1点とした。                       |
| ③ 市民ニーズの反映度 | 反映できた=4点、どちらかといえば反映できた=3点、どちらかといえば反映できなかった=2点、反映できなかった=1点とした。 |
| ④ 事務事業の構成   | 妥当=4点、どちらかといえば妥当=3点、どちらかといえば妥当でない=2点、妥当でない=1点とした。             |

評価軸①「指標の達成状況」については、各指標の達成度に応じて点数を付し、その平均点を評価点としました。

例: 1-1 コミュニティ活動の推進

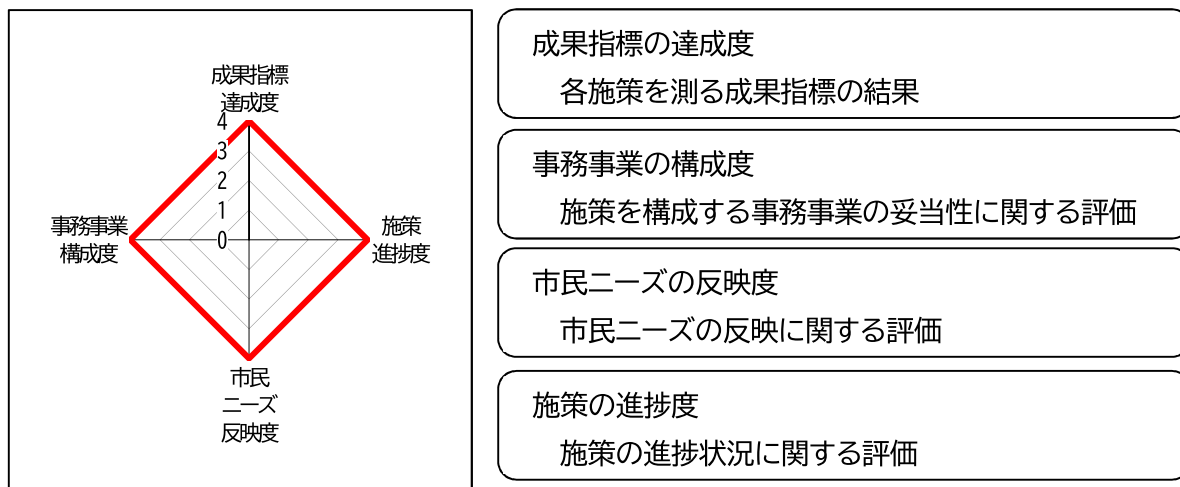
指標① 地域コミュニティ活動への参加率 A = 1点

指標② 市民活動サポートセンターの登録者(団体・個人) B = 4点

指標③ 自治体加入率 C = 1点

各指標の評価の合計 ÷ 指標数 = 目標達成度/施策の達成率  
(1 + 4 + 1) ÷ 3 = 2点

また、評価軸②「施策の進捗状況」、評価軸③「市民ニーズの反映度」、評価軸④「事務事業の構成」については、構成する各事務事業の評価を踏まえ、現状と課題を整理し、それぞれ4段階で評価しています。



## (2) 総合評価結果

全 49 施策中、「4点」は 20 施策、「3点」は 25 施策、「2点」は4施策、「1点」は0施策となりました。「4点」と「3点」を合わせると 45 施策で 91.8%となっており、ほとんどの施策が概ね順調に推進できているものと考えられます。

また、「2点」と「1点」を合わせると4施策で8.2%となっており、計画期間の残り3年間で、より一層の推進や効果的な取組みが求められます。

| 点数 | 内容                 | 割合     | 施策数 |
|----|--------------------|--------|-----|
| 4  | 順調に推進できていると評価できる   | 40.8%  | 20  |
| 3  | 概ね順調に推進できていると評価できる | 51.0%  | 25  |
| 2  | 更なる推進が必要となる        | 8.2%   | 4   |
| 1  | より効果的な取組みが求められる    | 0.0%   | 0   |
| 計  |                    | 100.0% | 49  |

## 3 施策の展開

これらの評価を踏まえ、今後の展開について、施策ごとに明らかにすることで、第5次吉川市総合振興計画後期基本計画に掲げるまちづくりの実現に向け、引き続き、より効果的かつ効率的な施策の展開を図るとともに、第6次総合振興計画に反映させてまいります。

